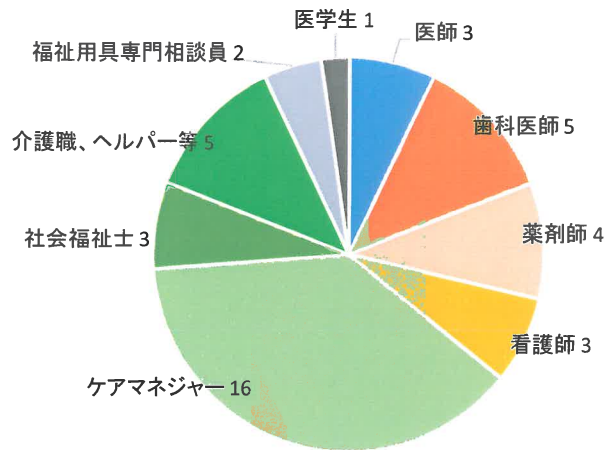


平成30年度 第3回在宅医療介護従事者研修会 アンケート

出席者 42名

医師	3
歯科医師	5
薬剤師	4
看護師	3
ケアマネジャー	16
社会福祉士	3
介護職、ヘルパー等	5
福祉用具専門相談員	2
医学生	1
計	42

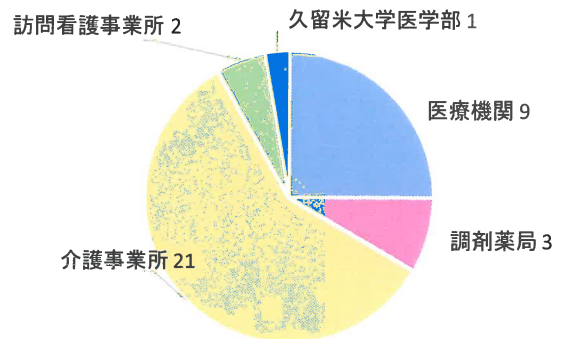


アンケート回収 36名

アンケート回収率 86%

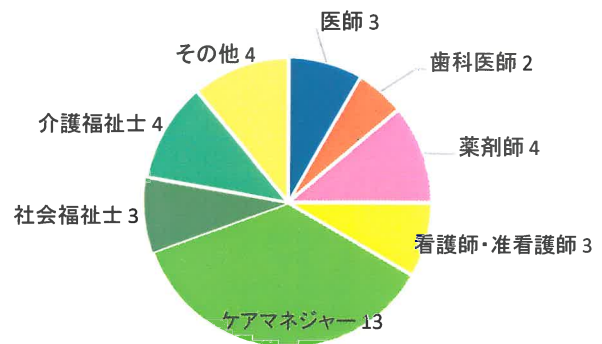
1、所属

医療機関	9
調剤薬局	3
介護事業所	21
訪問看護事業所	2
久留米大学医学部	1
計	36



2、職種

医師	3
歯科医師	2
薬剤師	4
看護師・准看護師	3
ケアマネジャー	13
社会福祉士	3
介護福祉士	4
その他	4
計	36



3、①本日の研修会はいかがでしたか

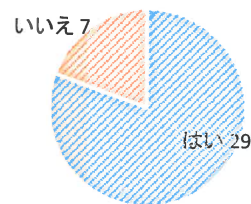
参考になった	36
参考にならなかった	0
計	36

参考になった 36



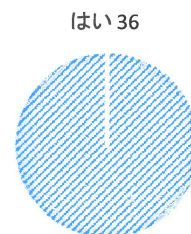
3、②常日頃、他職種の人達と連携を図ったりしていますか。

はい	29
いいえ	7
計	36



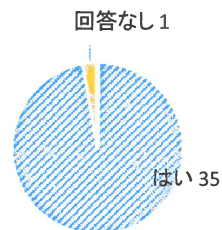
3、③グループワークでは他職種の理解を深めたり、医療と介護の連携の重要性が認識できましたか。

はい	36
いいえ	0
計	36



3、④本日の内容が、今後の活動に活かせると思えましたか。

はい	35
回答なし	1
計	36



3、⑤本日の感想をご記入ください。

- 多職種の方の考えや疑問を聞くことができ、良かったです
- 事例としてはとても良くサービスが上手いっていいのではないかと思います
- もう少しDrや看護師さんにも参加して欲しいと思います
- 違う職種の方の視点が聞くことができ、視野が広まりました。ありがとうございました
- 普段机上や実習で学ぶことができない医療の面を知ることができ、勉強になりました
- また参加したいと思います
- ケアマネの役割の大切さがよくわかった
- 積極的な意見が多く出て、とても考え深い内容でした
- 在宅看取りについて多職種のとの連携について学ぶことができた
- 皆が真剣に討議でき、有意義な研修できた
- ケアマネさんの率直な感想が聞けて良かったです
- それぞれの立場から意見が聞けたので参考になりました
- こういう機会があったらまた是非参加したいです
- ケアマネさんとの話しあいの中で連携の取り方を考えていきたいです
- ケアマネへの連絡が大切と思いました。今日症例でSWとケアマネの連携で退院に繋がっていることが素晴らしい
- 病院でのSWとしてもっと家族の希望によりそって行かないと思いました
- 連携について勉強になりました
- 看取りについて家族にも知識が必要
- 通所リハ事業所で実際在宅ターミナルとはあまり関わりないですが、貴重な事例、グループワーク、今後の活動に活かしたいと思います
- 主介護者が一人で頑張られている家庭は多いので、その点は難しい問題の一つだと感じた。訪問看護の役割の大切さや連携の重要性を痛感した
- 最後少し心残りがありますが、とても上手いっていい事例だと思います。今後前向きにターミナルケアにも携わりたいと思います
- 話し合いテーマがはっきりしているのがいい
- 歯科への関わりをケアマネ等から伝えてもらおうと関わりやすいかと思う
- 情報発信、共有や連絡は在宅看護に重要であることを再認識しました。またケアマネさんもそれを待っていらっしやるという気持ちがあることを知り、今後は遠慮なく連絡しようと思いました
- 情報の共有が重要であることを再認識できました
- 少しでもケアマネの気持ちがわかって良かったです

4、今後の研修会で、在宅医療・介護や多職種との連携等グループワークを行う中で、学びたい研修テーマや課題、事例等について何かありましたら、ご記入ください。

- 独居の方や、家族と確執があるケースにも課題にしてアドバイスが欲しいと思います
- 訪問診療と往診について
- 在宅で看取りの色々なケースを検討したい(独居の人等) それぞれの職種のフランクな意見を聞きたい
- 口腔、栄養
- 今日のように事例を出して、多職種の方々と話しあうことは大事だと思うので、またお願いします
- 訪問看護師さんの視点の事例をみてみたいです
- 今回の話し合いで在宅の栄養管理

5、研修会に関する日時・場所、その他のご意見やご要望がございましたら、ご記入ください。

- 可能な限り出席させていただきます
- 場所、時間は良いと思います
- 月末月初を外していただければいいと思います

徐々にレベル低下がある際の ケアマネと事業所の連絡方法

- 直電話。急でなければ
(メール画像など)
- グループLINEなどで共有
- 24時間つながること(携帯・スマホ)
- 緊急時とそうでない時の
対応を別にする
- 家族とケアマネの関係がよいのも
上手くいった事例と思う
- 緊急時は直訪問看護へ連絡
ケアマネへは事後報告
主治医と予め打合せ
- 歯科医も担当者会議に出席
(行けない時は衛生士が出席)

多職種の方へターミナルケアに おける介護支援専門員の役割

- ターミナルは医療度が高いので
場の設定、記録はきっちり行う
グリーフケアまでが支援

ターミナルをせん導するのは医療、
その隙間をうめるのがサービス

Drに伝えきれてなかった事を聞き
取り、繋ぐ。家族の不安を軽減
- 費用(負担金)も把握しておきたい
(ケアマネ)
- 看取り方のイメージが明確な方が
支援、サービスがブレない
この事例は家族に知識があったと
思う
- 医療用麻薬への不安も解消できる
よう説明していきたい
(必要があれば：薬剤師)

ケアマネと事業所の連絡方法

- 連絡ツールとして、LINEのグループのようなツールがあれば、誰がみても時系列で分かりいいのでは
専門職だけのグループと家族を含めたグループなど
- ケアマネから、〇〇の状態になったら教えて下さい等具体的に伝える
- 訪問介護では、ヘルパーが責任者に報告し、ケアマネに報告するようになっている

ケアマネの役割とは

- 医療と介護の連携の中心になって欲しい
- 社会資源を多く把握し、教えて欲しい

徐々にレベル低下がある際のケアマネと事業所の連絡方法

ケアマネとサービス事業所と担当者会議の時に事前に決めておく
(連絡経路・方法等)

かかわっている方すべてと訪問診療のとき等にケアマネ等訪問し、
その都度その都度、連絡経路・方法を確認しておく

- 予後を確認
- これからどうするか

多職種の方へターミナルケアにおける介護支援専門員の役割

感染予防口腔ケアの為に訪問歯科導入

栄養管理指導の介入の可能性

ボランティアの方の活用

迅速なサービス調整がなされている

こまめに連絡を取る。本人・家族がどのような生活を望まれているのか

ケアマネと事業所の連絡方法

- 徐々にレベルが低下した場合はケアマネも
訪問診療・訪問看護に立ち会う
- サービス担当者会議を状況に応じて開く
(場所を選ばず、顔を見える関係づくり)
- 患者の主治医が又は看護師がケアマネと情報を共有する

◎徐々にレベル低下がある際の
ケアマネと事業所の連絡方法

- 訪問看護をもう少し回数を増やし連携を図りやすくすべき
- ターミナルになると訪問看護が主となり、サービスに入っただけのように、計画をしていけばより主治医や他の情報も得られ、共有しやすかったのではないか
- 事業所だけではなく、家族からの情報をうまく活用できたらよかったのではないか

◎多職種の方へターミナルケアにおける
介護支援専門員の役割

- 各事業所間の橋渡し役
- 本人の意向を尊重し、意向にそえるように、家族への提案を繰り返し行い、情報の共有をはかっていく

徐々にレベル低下が
ある際のケアマネと
事業所の連絡方法

- 毎回、毎日 TEL、メール、連絡帳
(癌という言葉はPtに見えないように)
※密に報告をケアマネへする

多職種の方へターミナルケアに
おける介護支援専門員の役割

- 4/25～4/30までにケアマネへの連絡がないようですが・・・
多職種の意見を取りまとめて、穏やかに家族に看取りが
できるよう総合的な（医療と介護の）マネジメントを行う